

平成25年1月18日

厚生労働大臣

田村 憲久 殿

公益社団法人全国助産師教育協議会  
会 長 島田 啓子

## 要 望 書

平成 21 年 7 月に成立した「保健師助産師看護師法および看護師等の人材確保に関する法律の一部を改正する法律」では、保健師および助産師の養成の修業年限が 6 か月以上から 1 年以上に改正されました。

厚生労働省におかれましては、平成 22 年 11 月の「看護教育の内容と方法に関する検討会」で、助産師教育の必要履修単位数が現行 23 単位から 28 単位へと増加され、助産師教育の充実にむけた改革が行われました。

これと並行して文部科学省では、平成 21 年より「大学における看護人材育成のあり方に関する検討会」が開催され、学士課程における看護基礎教育課程の在り方について全体的な見直しが行われ、卒業時の実践能力の強化が課題として示されました。

さらに、平成 22 年には ICM（国際助産師連盟）から「助産師教育の世界基準（2010）」が示され、国際的にも助産師教育の質の標準化が求められるようになっております。

このような国内外の助産師教育改革の意図を踏まえ、公益社団法人全国助産師教育協議会は、助産師教育の質保証および助産師養成数の確保の一層の充実を図るべく、下記の事項を要望いたします。

1. 助産実践教育力の質向上のために、若手の助産学担当教員や助産学実習指導者を対象とした継続教育研修事業を、本会が運営する助産師教育研修研究センターに委託していただきたい。
2. 助産師教育の質保証のために、厚生労働省が管轄するすべての助産師養成課程において、第三者評価を義務化していただきたい。
3. 十分な助産師数の養成に向けて助産学実習の施設を確保するために、助産学実習を受け入れている実習施設に対して、専任の実習指導者を確保するための補助金を助成していただきたい。

## 要望の理由

1. 助産実践教育力の質向上のために、若手の助産学担当教員や助産学実習指導者を対象とした助産師の継続教育研修事業を、本会が運営する助産師教育研修研究センターに委託していただきたい。

昨今の女性の生き方は多様であり、女性のライフサイクルに沿った個別的な健康支援が必要とされ、女性の生涯を通じた健康支援者である助産師には、より幅の広い役割が求められている。しかしながら、広く社会に要請される助産師の専門能力を培うには、現在の助産師基礎教育だけでは限界がある。

また昨今では、多くの教育機関で教育力の低下が問題視されており、特に助産師教育に関してはその専門性が高いために、助産師教育を担当できる教員の確保や助産師教育力の強化に大変苦勞している。

本協議会は平成 24 年度に助産師の継続教育の拠点として、助産師教育研修研究センターを設置する運びである。そこでは、助産学担当教員の研修、助産学実習指導者の研修、助産師教育場面における事例検討会、資格・専門能力の評価、助産学研究コースの開催など、多様な継続教育を展開していく。

これら助産師の生涯学習の場を提供する助産師教育研修研究センターの活動は、母子をはじめ国民の健康増進に公益的に大きく寄与・貢献できるものであることから、若手の助産学担当教員や助産学実習指導者等の継続教育研修事業を、本会が運営する助産師教育研修研究センターに委託していただきたい。

2. 助産師教育の質保証のために、厚生労働省が管轄するすべての助産師養成課程において、第三者評価を義務化していただきたい。

教育の質保証のためには、第三者による評価を積極的に取り入れることが社会的に大きく期待されている。

現在、わが国の助産師教育は多様化しており、専修学校、短期大学専攻科、大学学士課程（選択制）、大学専攻科・別科、大学院など、様々な助産師養成課程が存在するが、いずれの課程においても一定基準の教育の保証に努める必要がある。

以上の理由より、厚生労働省が管轄するすべての助産師養成課程において、助産学の専門性に特化した一定基準の教育の質を保証するために、第三者評価の実施を義務化していただきたい。

3. 十分な助産師数の養成に向けて助産学実習の施設を確保するために、助産学実習を受け入れている実習施設に対して、専任の実習指導者を確保するための補助金を助成していただきたい。

実践力が求められる助産師教育の質保証には、助産学実習の質が大きな要因となる。平成 22 年に助産師教育の必要履修単位数が現行 23 単位から 28 単位へと増加された際にも専任教員数は増加されなかったこともあり、助産学実習を受け入れている施設では学生を担当する専任の実習指導者の確保が必須である。

以上の理由により、専任の実習指導者を 1 名以上配置している助産学実習施設に対して、実習環境の整備のための人件費確保に補助金を助成していただきたい。